

もくじ

- ・ おぶさりてえ

おぶさりてえ

げんさく 原作：にほん むかしばなし 日本の昔話

イラスト：かわの まほ

へんしゅう 編集：YellowBirdProject

3

むかしむかし、あるところに、太郎、次郎、三郎と
いう、三人の兄弟が暮らしていました。

ある日、長男の太郎が、隣村に買い物に出かけ
ました。

買い物を終えた太郎が、帰りの山道に差し掛かった
ときです。

「ん、なんだ・・なんだか、きみょうな気配を感じる
な・・」

辺りは、もうすっかり暗くなっていました。
実はこの山道には、おそろしい化け物が出るという
ウワサ話しがあったのです。



5

^{とつぜん} 突然、^{たろう} 太郎のすぐ^{うし}後ろから、^{ぶきみ}不気味な^{こえ}声が聞こえて
きました。

『おぶさりてえ・・・おぶさりてえ・・・』

ゆっくりと^ふ振り返った^{かえ}太郎は、^{たろう}おどろいて^{ひめい}悲鳴を
^あ上げてしまいました。

なんとそこには、^{ひと}人と^{おな}同じ^{おお}ほどの^{おお}大きさの、
ぼんやりと^{ひか}光る^{たま}なぞの^{たま}玉が、^うふわふわと^う浮かんで
いたのです。

『おぶさりてえ・・・おぶさりてえ・・・』

「ぎゃー！で、でたー！！」

^{たろう} 太郎は^{ひっし}必死に^{はし}走って、^{じぶん}自分の^{いえ}家まで^に逃げ^{かえ}帰りました。
た。

